

中小企業ぐんま

新春特別企画
業界・組合リーダーの年頭所感

VOL.675
2018.

1



群馬県中小企業団体中央会

●新年会

1月23日(火)

前橋商工会議所会館

特集Ⅰ 新年挨拶 2

群馬県中小企業団体中央会会長 金子 正元

群馬県知事 大澤 正明

全国中小企業団体中央会会長 大村 功作

株式会社商工組合中央金庫前橋支店長 櫻井 浩嗣

特集Ⅱ 業界・組合リーダーの年頭所感 5

特集Ⅲ 新年名刺広告 15

情報連絡員だより 21

インフォメーション 22

めいど in 群馬

～ 伊香保の十二支手ぬぐい ～ 〈表紙の写真〉

伊香保と言えば「石段街」。その石段に十二支のプレートが埋め込まれていることをご存知だろうか。

江戸時代の石段街には、温泉の権利を持つ12軒の旅館があり、それぞれ「大屋(おおや)」と呼ばれていた。大屋にはそれぞれ十二支が割り振られ、年番で伊香保関係の名主を務めていたとされる。現在は、その旅館のあった場所に十二支のプレートが刻まれている。

今回は、その石段に埋め込まれている十二支をデザインした「伊香保の十二支手ぬぐい」を紹介する。

考案したのは、伊香保温泉旅館協同組合青年部。同青年部では、伊香保温泉の歴史を題材とした新しい土産を作りたいとの想いの下、「大屋制度」に着目。さらに、伊香保温泉が「旅館手ぬぐい」(宿泊客ひとりひとりに手ぬぐいを用意するサービス)の発祥の地と言われていることから同製品を企画した。

石段に埋め込まれた十二支のプレート



手ぬぐいのデザインは「大屋制度」と「石段街」がモチーフとなっている。染めは、「注染(ちゅうせん)」と呼ばれる伝統的な型染め技法を採用。これにより、他の技法では引き出すことのできない独特の風合いが生み出されている。染めの工程は、伊香保温泉旅館協同組合HPに掲載されている動画で見ることができる。

「伊香保の十二支手ぬぐい」は、昨年11月21日より伊香保温泉にある12軒の旅館と石段街周辺の土産店にて販売している。

伊香保を訪れた際は、石段街をのんびりお散歩がてら、ご自身の干支を探してみたいはいかがでしょうか。

伊香保温泉旅館協同組合(青年部)

渋川市伊香保町541-4 ☎0279-72-3201

<http://www.hotels-ikaho.or.jp/>